

『コミュニティ・スクール「日知塾」』は、西益津地区交流センターをお借りして、藤枝西校生が地区の小、中学生の皆さんの学習を支援する塾です。地域にお住いの横山浩さんにコーディネーターとして御協力いただき、西益津小学校、藤岡小学校、西益津中学校から希望者を募って開催しています。この「日知塾」という塾名は、江戸時代後期に田中藩の藩校として開設された「日知館」にちなんで命名されているそうです。「日知館」では、将来、藩の大切な力となる子どもたちに弓術、剣術、柔術などの武術や漢学などの学問を教え、藩士教育の重要な柱となっていたそうですよ。私たちのコミュニティ・スクール「日知塾」に参加した西高生と子どもたちが、いつかこの地域を支える大きな力となりますように。そんな未来に思いを馳せながら、今回のコミュニティ・スクール通信は「日知塾」の活動の様子をお伝えします。

元気いっぱい挨拶でスタート！

「日知塾」は、月に二回、火曜日の夜に開きます。学習会のスタートは午後六時三〇分。時間になると、教室の壁に参加児童、生徒が並びました。何が始まるのかな？と思っ

「支援」を通してお互いに成長し合う

「日知塾」に参加する西高生たちの中には、将来、学校の先生になりたいという夢を持っている生徒も多くいます。小、中学生との触れ合いの中で、「教える」体験を重ね、子どもたちへの接し方も学びたいと考えているのです。「将来は小学校の先生を目指している。コーディネーターの横山浩さんは「自ら学ぶ姿勢を養うことが大切。それぞれが刺激を与え合ってほしい」とおっしゃいます。小・中学生の学習支援をしながら、夢に向かう西高生にとっても、またとない学びの場となっています。



温かい眼差しで子どもを見守る  
コーディネーターの横山さん

『あ！そうか！』『分かりました！』を共有できる喜びが自己有用感を育てる

少しずつ思い出が増える「日知塾」

十一月八日。この日の「日知塾」は、いつもと様子が違いました。その夜は皆既月食が見られるとあって、望遠鏡を持参した中学生がいました。またとないチャンスにみんな外に出て交代で望遠鏡を覗きました。次に皆既月食が見られるのは三年後。少し大きくなった塾生たちがこの日を思い出した時、西高生と過ごした「日知塾」を懐かしむかも知れません。



今年度「日知塾」への参加を希望した西高生は四十二名。もちろん、教員になりたい生徒や、勉強が好き！勉強が得意！という生徒ばかりではありません。子どもたちの役に立ちたいという気持ちで参加している生徒がほとんどです。コロナ感染症対策のため、教室が小学生と中学生に分かれる時には、「中学生に教えられ

かな？」と不安そうな表情をしている生徒もいます。それでも、「分からない問題ある？」と声を掛けにいきます。質問に対して、うまく教えてあげることができた時、質問した子どもは「あ、分かった！」とほっとした表情になりますが、その時、実はその子以上に良い表情をしているのが、教えた西高生たちなのです。良かった！という心の声が顔に大きくはつきりと表れていて、見ているこちらも思わず、分かってもらえて良かったね！と、ハイタッチでもしようかという気分になってしまいう程の、本当に素敵な笑顔なのです。



これが横山さんのおっしゃっていた「お互いに刺激し合う」ということなのだと思えました。この経験を通して、「日知塾」に来て

つながっている実感が大きな力になる

コミュニティ・スクール「日知塾」は、月に二回、年間で十六回開催します。実は、私が参加したのはそのうちの四回だけです。四月の職員会議で、先生方に有志で担当していただけないかとお願いしたところ、何名かの先生が声を掛けてくださいました。「いつも助けてもらっているから力になるよ。」と喜んでくださった言葉が本当に嬉しくて、温かい気持ちを頂き、コミュニティ・スクールの意義をまた一つ実感することになりました。

コミュニティ・スクールには、学校と地域が連携して子どもたちを育てるという目的があります。地域とつながるその前に、学校の中が繋がっていることが本当に大切なことだと、声を掛けてくださった先生方から教えていただきました。学校の中には、様々な組織があり、それぞれのチームが役割を果たすことで運営が成り立っています。それでも、担当課だけではとてもやりきれないこと

もありました。そんな時には学年、分掌、の枠を超えてつながり、同じ方向を見て進んで行けるのが学校です。今年、コミュニティ・スクールの担当者として、改めて先生方の温かさ、つながりの大切さを実感しています。また、今年度から「日知塾」にも毎回、PTAの方がついてくださっています。一年生の保護者の方が「西高の子ってこんなにしっかりしているの？すごいね！感動しちゃった！」と言ってくださいました。「来年は絶対うちの子にもやってもらいたくないな。」とも。保護者の皆さんにも、コミュニティ・スクールの意義を実感していただけたようで、これも大切なエネルギー源となりました。今年一年間、コミュニティ・スクール事業に参加する度に、温かい気持ちと、多くの学びを頂くことができました。生徒、地域、先生方、保護者、みんなとつながっているという実感を得る。これが、私が今一番強く感じているコミュニティ・スクールの良さです。